

”よさん”ってなーに？



— 予算などに対する素朴な疑問にお答えします —

はにゅう

《 目 次 》

[素朴なギモン？]

- Q1 そもそも“予算”って何ですか？
- Q2 予算はどうやって決めるの？
- Q3 羽生市の予算は、どれくらいの規模なの？
- Q4 「一般会計」って何ですか？
- Q5 羽生市の収入にはどんなものがあるの？
- Q6 税金収入は増えているの？
- Q7 銀行などから毎年借り入れているお金は増えているの？
- Q8 “地方交付税”は減っているの？

[市の家計簿でみるギモン？]

- Q9 市の予算は、わたしたちの家の家計とは違うの？
- Q10 家族で稼いだお金より生活費の方が多いってどういうこと？
- Q11 どんなことにお金を使っているの？
- Q12 子どもたちへの仕送り（他会計への繰出金）が多いのはどうして？
- Q13 借金の返済が家計を圧迫しているようだけど、借金の残高は他の家庭に比べてどうなの？

みなさんの素朴なギモンにお答えします！

Q1 そもそも“予算”って、何ですか？

A1 羽生市の1年間の収入と支出の見積もりです。

みなさんが払っている税金は、国・県・市などの収入となり、様々な行政サービスに使われています。市では、新しい年度（毎年4月1日）が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを検討・計画します。この見積もりが、「予算」です。

羽生市の”予算“は、みなさんが払った税金がどのように使われるかを示しています。



Q2 予算はどうやって決めるの？

A2 市長が予算案をつくり、市議会の審議を経て決まります。

予算を決めるのは、みなさんが選挙で選んだ市長と市議会議員です。

市役所の各部課は、市民からの意見や要望を聴き、地域の実情などを考えながら、「今、どんな行政サービスが必要か」「この羽生市で行うべき事業は何か」と翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、こうした各部署の案をもとに、市民生活や地域にとって必要なことは何かを考えて予算案をまとめます。

市議会では、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。



Q3 羽生市の予算は、どれくらいの規模なの？

A3 平成22年度の一般会計は、163億3600万円。

全会計の総額では300億8053万円4千円です。

一般会計	163億3600万円
国民健康保険特別会計	56億6533万3千円
下水道事業特別会計	17億1539万3千円
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億4621万7千円
住宅資金貸付事業特別会計	362万6千円

老人保健特別会計	1 億 240 万 3 千円
介護保険特別会計	31 億 5389 万円
後期高齢者医療特別会計	8 億 8080 万 5 千円
水道事業会計	20 億 7686 万 7 千円
合 計	300 億 8053 万 4 千円

＜参考＞近隣市町一般会計予算規模

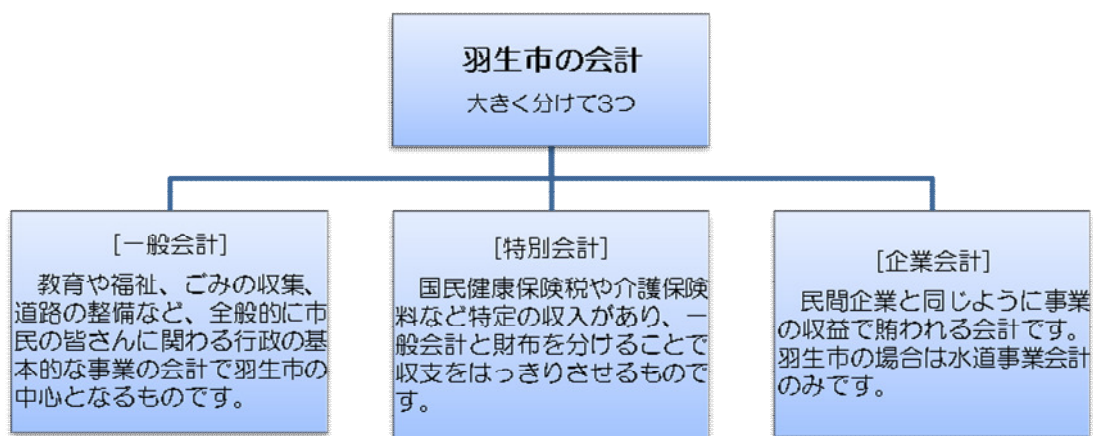
行田市 241 億 4000 万円

加須市 360 億 7000 万円

Q4 「一般会計」って何ですか？

A4 羽生市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計に分かれています。

一般会計は、教育や福祉、ごみの収集、道路の整備など、全般的に市民の皆さんに関わる行政の基本的な事業の会計で羽生市の中心となるものです。



Q5 羽生市の収入にはどんなものがあるの？

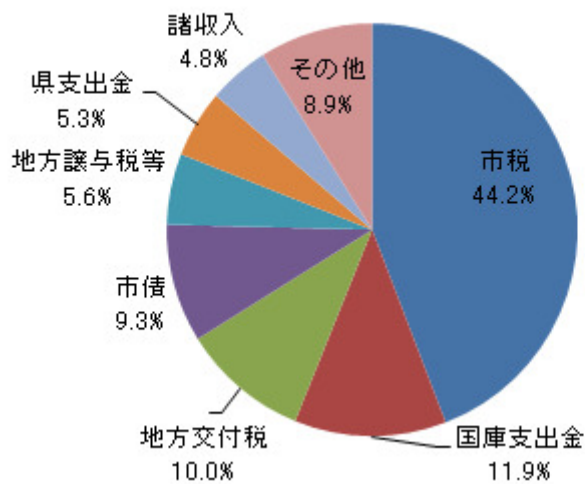
A5 市の税金のほか、国と県から配られるお金や借入金などがあります。

一般会計の収入の半分は、みなさんが払った市の税金です。

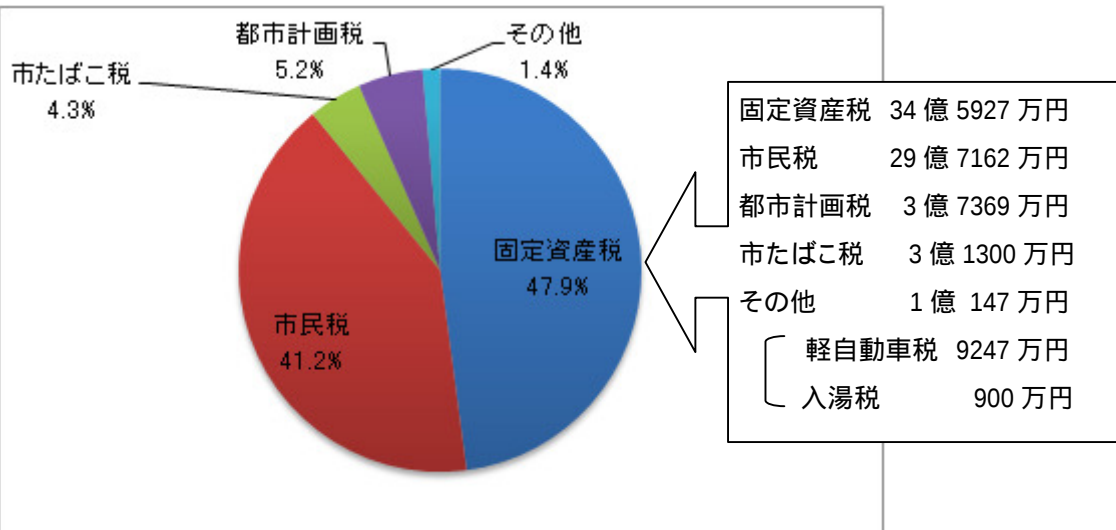
市税の主なものは、収入に応じて市民が負担する市民税、土地・家屋などの価格に応じて所有者が負担する固定資産税、下水道・街路・区画整理などの都市計画事業の費用にあてられる都市計画税などがあります。

市の収入には、これ以外にみなさんが国や県に払っている税金の一部が市に配られるもの（地方交付税、国・県支出金、地方譲与税など）や建設事業を行うときに銀行などから借入れる市債（借金）などがあります。

平成 22 年度予算における収入の状況



上記のうち市税収入の内訳



【用語メモ】

地方交付税 … 地域ごとに生じる地方税の収入の差を調整するため、いったん国に集めてから交付されるお金

国・県支出金 … 特定の事業に対して、国・県から使いみちを指定して交付されるお金

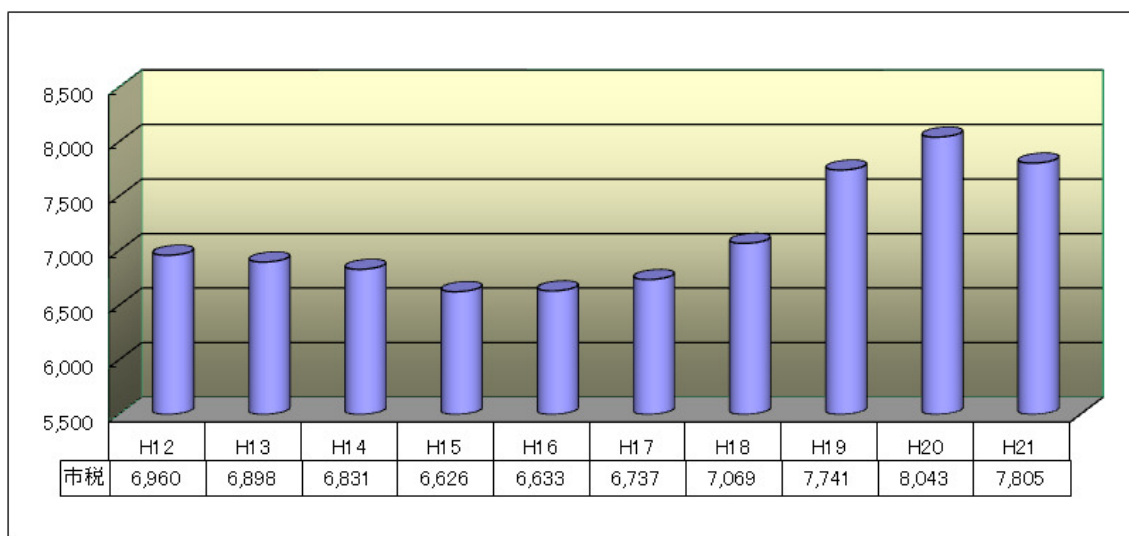
Q6 税金収入は増えているの？

A6 平成16年度より5年連続で増えておりましたが、平成21年度は減少しております。

収入が減った主な要因は、企業収益の悪化に伴い、雇用及び給与の大幅減少による個人市民税の減収、そして景気の低迷による法人市民税の落ち込みが大きく影響したものと考えられます。

市税収入の推移

(単位：百万円)



Q7 銀行などから毎年借り入れているお金は増えているの？

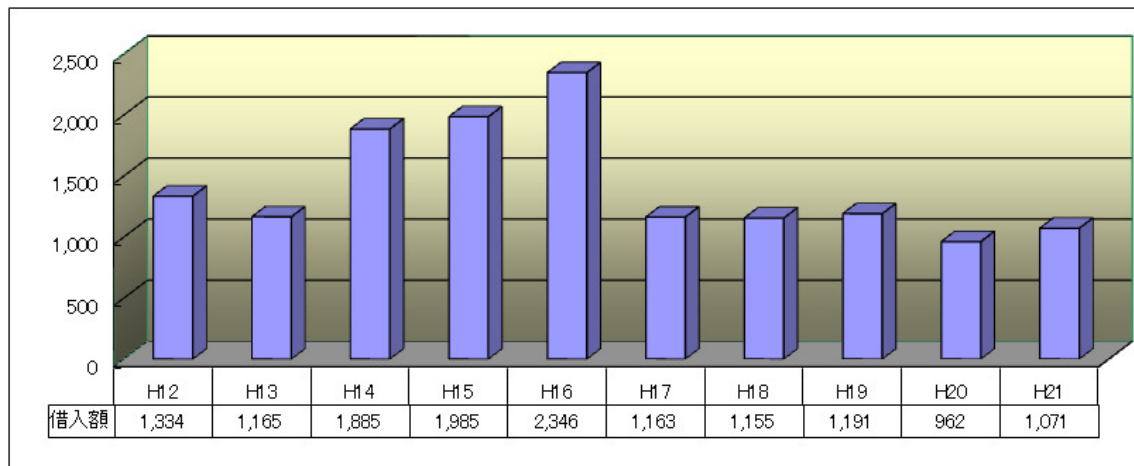
A7 最近5年間は、ほぼ同じくらいの11億円程度を借り入れています。

みなさんの家庭でも、家の新築・増築や車の購入など一度に多額のお金が必要な場合、銀行などでローンを組むことが多いと思います。市でも大きな施設の整備事業を行う際には金融機関などから借入を行って工事代などに充てています。H17からH21にかけては、特に大きな施設の整備などはなかったため、借入金は11億円前後となっています。

多く借入をしたH14からH16年度には、羽生駅舎・体育館サブアリーナ・汚泥再生処理センターの整備がありました。

借入金の推移

(単位：百万円)



Q8 “地方交付税”（地域ごとに生じる地方税の収入の差を調整するために国から交付されるお金）は減っているの？

A8 平成 15 年度以降 4 年連続減額でしたが、平成 20 年度・21 年度と増額されております。

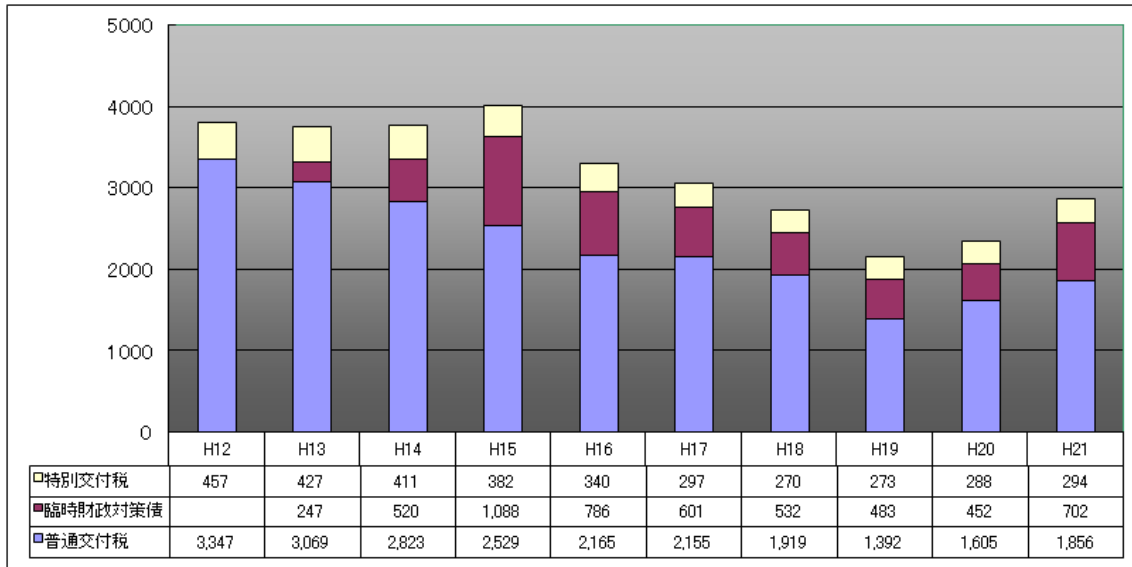
“地方交付税”は、国の税金である 5 税（所得税 32%・法人税 34.0%・酒税 32%・消費税 29.5%・たばこ税 25%）の一定割合をもとに国から交付されます。

地方交付税は、その使い道を指定されず市の裁量で自由に使うことができる一般財源で市の収入の 10%占めており、交付税の動向は市の財政に大きな影響を及ぼすこととなります。

地方交付税と臨時財政対策債を含めた過去 10 年間の推移はつぎのとおりです。

地方交付税の推移

(単位：百万円)



【用語メモ】

臨時財政対策債 … 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体に借金をしてまかなっておく市債のことを指します。平成 13 年度からつくられたしくみで、返済する年度の地方交付税額を計算するときに、返済金額が 100%（全額）上乘せされます。

他の市債と違い、自由に使える地方交付税の代わりとしての借金ですので、建物の建設などに限らずに使うことができるという特徴があります。

特別交付税 … 普通交付税で想定していない災害などの特別の財政需要に対して交付されるもの

羽生市の家計簿をつくってみました！



Q9 市の予算は、わたしたちの家の家計とは違うの？

A9 一般の家計と市の会計では、お金の使い道も規模も違いますので、単純には比べられないところもありますが、みなさんの家庭の家計簿に例えてみましょう。

羽生市の平成22年度一般会計予算（163億3600万円）を年間500万円の家計に例えてみると次のようになります。

【収 入】（入ってくるお金）

給料（市税）	221万円
パート収入（使用料・手数料）	14万円
実家からの援助（補助金・譲与税・交付税など）	164万円
預金の引き出し（繰入金）	20万円
銀行などからの借金（市債）	46万円
前の年の残金（繰越金）	11万円
雑収入（雑入など）	24万円
合 計	500万円

家族で稼いだ
お金
235万円

【支 出】（出ていくお金）

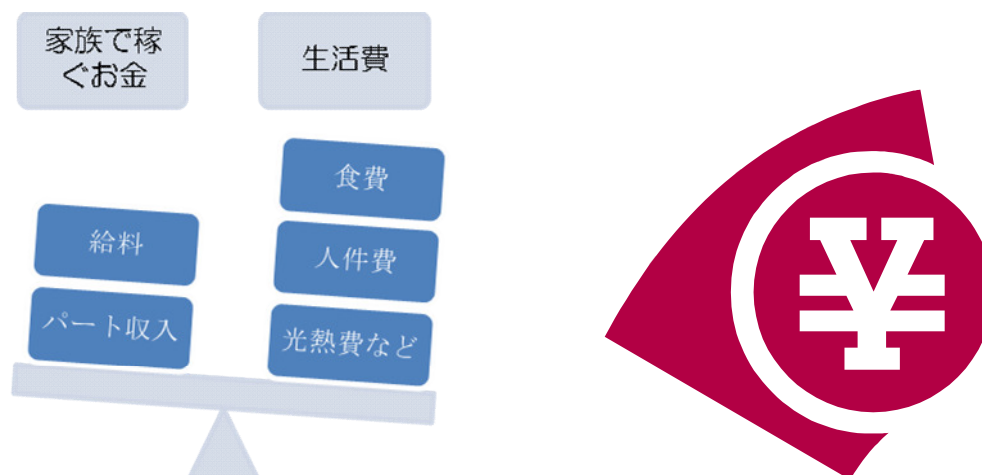
食費（人件費）	106万円
医療費・教育費（扶助費）	106万円
光熱費や車の修繕等の雑費（物件費）	90万円
子供への仕送り（他会計への繰出金）	63万円
借金の返済（公債費）	66万円
小遣い・自治会費・保険料など（補助費、貸付金）	30万円
居宅の増改築（普通建設事業費）	38万円
預金（積立金、予備費）	1万円
合 計	500万円
借金の残高（市全体を500万円の家庭とした場合）	951万円

生活費
365万円

羽生市の家計は、一年間の生活費が365万円かかるのに対し、家族が稼いだお金は235万円しかありません。また、支出の内訳をみると、家族の医療費や借金の返済など、減らしたくても簡単には減らせないものがあります。

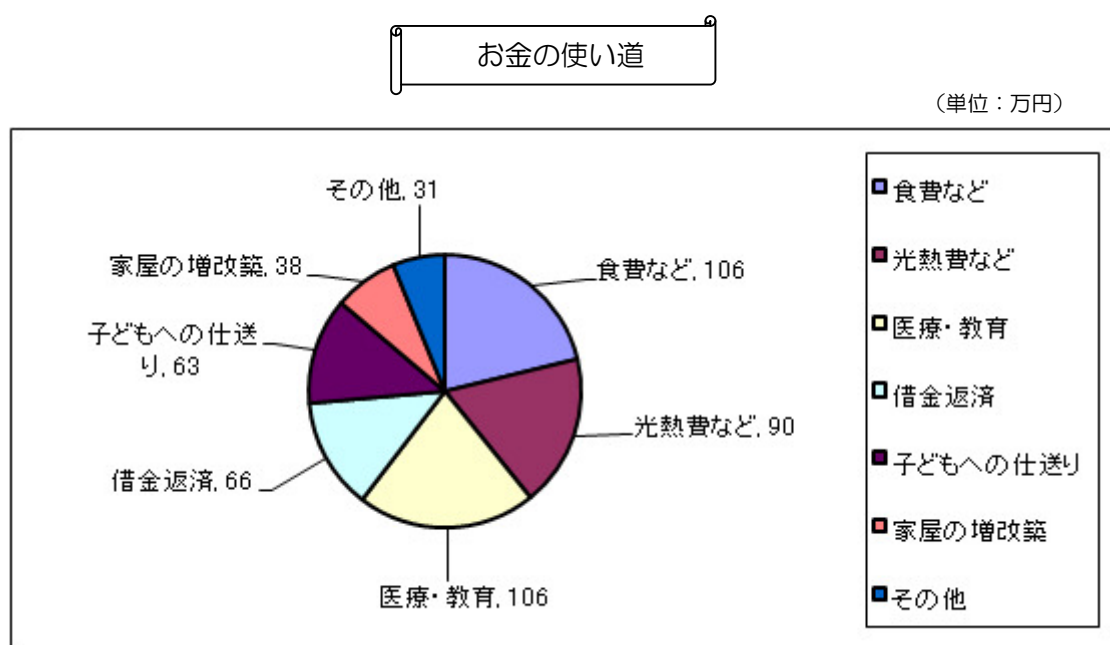
Q10 家族で稼いだお金より、生活費の方が多いってどういうこと？

A10 羽生市は、家族で稼いだお金（市税、使用料・手数料など）だけでは、生活していくことができないのです。実家からの援助（補助金・譲与税・交付税など）や銀行などからの借金（市債）がどうしても必要なのです。



Q11 どんなことにお金を使っているの？

A11 食費（人件費）や光熱費（物件費）、家族の医療費・教育費（扶助費）、借金の返済（公債費）、子どもへの仕送り（他会計への繰出金）の割合が高くなっています。



年間支出 500 万円の家庭とした場合のお金の使い道

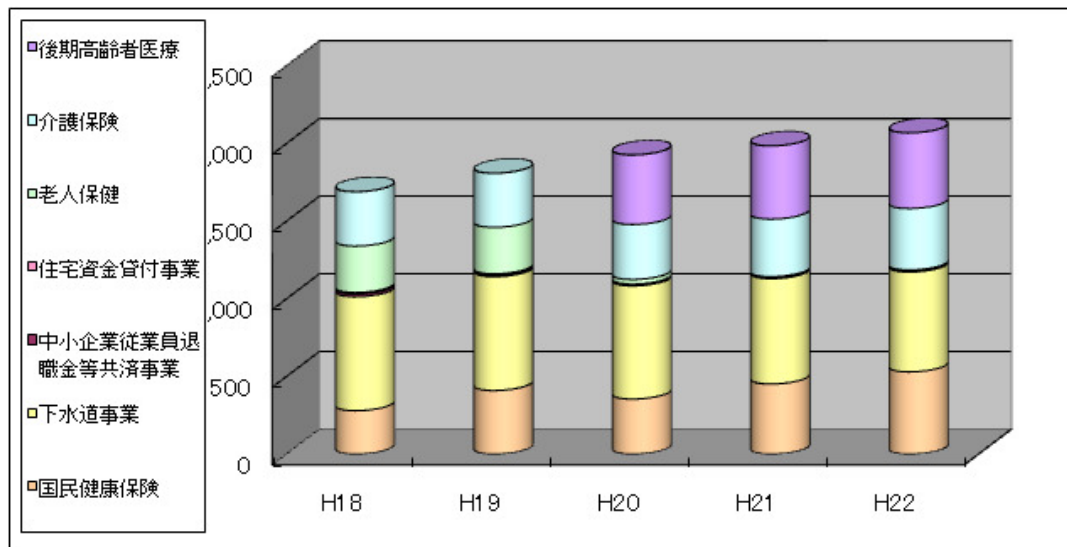
Q12 子どもたちへの仕送り（他会計への繰出金）が多いのはどうして？

A12 特別会計で行っている国民健康保険や下水道事業において厳しい経営状況が続いており、その支援のための支出が一般会計の大きな負担となっています。

過去5年間の推移をみると、毎年1億円程度子どもへの仕送り（繰出金）が増加しています。このことが家計（一般会計）を圧迫している要因のひとつになっています。

過去5年間の繰出金（予算）の推移

（単位：千円）



（単位：百万円）

区 分	H18	H19	H20	H21	H22
国民健康保険	280	410	355	452	530
下水道事業	734	733	729	678	643
中小企業従業員退職金等共済事業	17	11	11	11	11
住宅資金貸付事業	10	7			2
老人保健	299	300	30	2	
介護保険	350	348	354	371	396
後期高齢者医療			448	471	487
合 計	1690	1809	1927	1985	2069
前年差額		119	118	58	84

* 後期高齢者医療特別会計は、平成20年度より創設。（そのかわり老人保健繰出金が減少）

Q13 借金の返済が家計を圧迫しているようだけど、借金の残額は他の家庭に比べてどうなの？

A13 住民一人当たり残高で判断しますと、ご近所さん（行田さん、加須さん）と同程度の借金残高となっております。

平成 20 年度借金残高を他の市町村と比較してみよう。

※加須市は既に合併しているものとして計上

	借金残高	住民一人当たり残高目安	人口（H20 末）
羽生市	330 億 1400 万円	586,926 円	56,249 人
行田市	485 億 5200 万円	559,207 円	86,823 人
加須市	730 億 500 万円	627,811 円	116,285 人

（財政状況等一覧表（平成 20 年度）より抜粋）

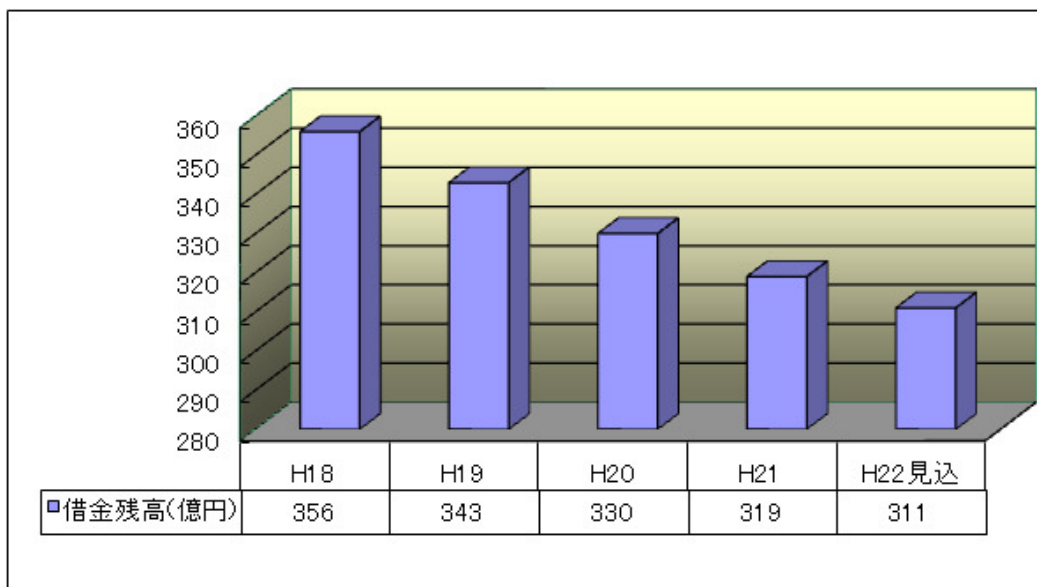
上の表をみてみますと、我が家の借金残高は人口一人当たり 586,926 円となっており、ご近所（行田さん、加須さん）に比べると真ん中に位置します。

施設などを建設するときはその年の税收だけで整備するのではなく、その費用の一部を借金でまかないます。これは、将来その施設を利用する方々の税金で借金を返済することにより、世代間の公平を図るという観点からです。家族の生活を豊かなものとするため、車庫や物置、庭、自動車、家具（学校・公園・道路・文化ホール・体育館）など整備した結果が借金残高となって表れているのです。

現在も一生懸命借金の返済を行っています。21 年度には 319 億円（1 人当り 568,496 円）、22 年度には 311 億円（1 人当り 554,404 円）まで減らす予定です。（次のグラフ参照）

今後も、この借金を減らしていくために、繰上償還の実施や償還元金以上に借金をしないように努めていきます。

羽生市の借金残高の推移（見込）



おわりに、平成 15 年度（財政危機突破第一年度）より、厳しい財政状況を打破しようと行財政改革に真剣に取り組んでまいりました。その成果は少しずつではありますが着実に表れてきております。今後もこの歩みを緩めることなく改革を推進してまいります。

また、市の予算や財政状況等につきまして少しでも分かりやすいかたちで提供できるようこれからも努力してまいります。

